

令和4年度 定時総会開催

令和4年6月8日 会場/万代シルバーホテル

総 会

万代シルバーホテルにおいて、3年ぶりに定時総会を開催しました。

初めに竹林会長が「来年はいよいよ新潟市において全国大会が開催されます。今後も、会員相互の研鑽や交流を通じてパワーを結集し、地域の明るい未来に貢献できるよう取り組んでまいりたいと存じます。引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。」と挨拶しました。

続いて、事業企画・研修事業・交流拡大・広報委員会の委員長が、令和3年度事業報告・収支決算(案)・令和4年度事業計画・収支予算(案)を説明し、全会一致で承認されました。

その他、事務局より全商女性連「福島全国大会」(郡山市)・県内女性会合同研修会の参加について呼びかけがありました。



挨拶する竹林会長



各委員会事業報告 及び 事業計画

事業企画委員会

委員長 前田典子
(株) 船栄

【令和3年度 事業報告】

- ・定時総会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議
令和3年6月

【令和4年度 事業計画】

- ・定時総会の開催
令和4年6月8日

研修事業委員会

委員長 高松智子
ユニバーサルカラーインスティテュートインターナショナル

【令和3年度 事業報告】

- ・視察研修会開催(阿賀野市 旦飯野神社、五十嵐邸ガーデン)
令和3年6月1日(水)
- ・日本商工会議所ビジネスコミュニティ型補助事業
令和3年9月~12月

【令和4年度 事業計画】

- ・視察研修会の開催
令和4年10月21日
- ・新春講演会の開催
令和5年2月頃の予定

交流拡大委員会

委員長 高取サト子
高取商店

【令和3年度 事業報告】

- ・納涼会、新年会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

【令和4年度 事業計画】

- ・情報交換会の開催
令和4年7月22日(金)
- ・納涼会の開催
令和4年9月27日(火)
- ・新年会の開催
令和5年2月頃の予定

広報委員会

委員長 河本さとみ
(株) エントラストエスケイ

【令和3年度 事業報告】

- ・会報第17.18号合併号作成発行
(令和2年度・令和3年度合併号) 令和3年12月
- ・会員手帳差込用シール作成
令和3年12月
- ・女性会HPデータ更新
令和3年4月・令和4年3月
- ・女性会創立20周年記念誌作成

【令和4年度 事業計画】

- ・女性会会報発行
年1回発行

創立20周年記念式典

令和4年6月8日
会場/万代シルバーホテル

記念パーティー

～福田会頭挨拶～



新潟商工会議所女性会の創立20周年を心からお祝い申し上げます。

女性会は創立以来、様々な事業に積極的に取り組み、全国の女性経営者との交流を通じてネットワークの拡大に努めるなど、高い志をもって自己の変革や向上を目指して活動を続けてこられました。

ここに記念すべき20周年を迎えられましたことは、ひとえに歴代の役員の皆様方並びに会員各位のご尽力の賜と深く敬意を表します。

20周年を新たな起点として、活力ある地域社会の実現に向

けて、「行動する女性会」としての活動を継続していかれることを心からご祈念申し上げますとともに、会員の皆様方のお一層のご繁栄をお祈り申し上げます。



永年会員表彰式

～木村実行委員長挨拶～

新潟商工会議所女性会創立20周年記念式典を無事成果的に迎えることができました。これもひとえに竹林会長をはじめ皆様のご指導の賜物と存じます。実行委員長という大きな役目を頂き、最初はとても不安でしたが、各委員長、委員の方達と会議を重ねることで皆さんとの連携、コミュニケーションが深まりました。20年という年月、長くて短いその間、退会者、新入会員など様々な事がありました。先輩会員、若手会員など世代交代、コロナ禍により経済情勢が大きく変化し先が読めない状況の中でも明るく前向きに意見を出し合い進めてきた結果だと思えます。

来年は全女連新潟全国大会があります。新潟県を全国にPRし県内商工会議所女性会をより一層強化拡大し新潟独自のおもてなしで全国大会を迎えたいと思えます。

20年永年会員の皆様



木村実行委員長

壇上花 藤田美知子さん創作

記念講演会

演題

国の行政相談

講師：島岡 良行 氏

(総務省行政評価局企画課 課長補佐)

島岡氏は、行政相談の実例を挙げながら、「住民の満足度UPに貢献することが地域貢献につながる。皆さんが日頃感じている地域課題等があれば教えてほしい」と述べました。



演題

**海外から学ぶダイバーシティ経営
～考え方の違い～**

講師：永田 真一 氏

(在ジュネーブ国際機関日本政府代表部参事官)

当日は、永田氏よりジュネーブからオンラインで講演いただき、どうすればいろんな人が生きやすくなるのか、海外の事例を挙げながら説明がありました。参加者からは「本音の部分を語ってもらって良かった」「何を信じるかは思い込みの裏にある、という言葉が印象的だった」との感想が寄せられました。



渋谷 駿
Syun Shibuya

マジックショー

注目の若手マジシャン渋谷駿氏より、繊細で美しく、ダイナミックなマジックショーを披露していただきました。

渋谷氏は、ダンスとマジックを融合させた独自のパフォーマンスを確立し、数々の国際大会で優勝など、国内外問わず活躍されています。



事業報告 ～3年ぶりに様々な事業を始動～

情報交換会

令和4年7月22日(金)

交流拡大委員会

女性会会員同士の交流を目的とした情報交換会と『日経新聞の読み方講座』を開催しました。

講座では日本経済新聞社 エリアセールスユニット東日本1部 竹田 悟朗次長を講師に迎え、新聞記事から日本および世界の経済ニュースに対する理解を深め、世の中の動きやビジネスの流れを読み取るコツを学びました。その後は、講師の竹田氏も交えて会員同士の交流を図りました。



納涼会開催

令和4年9月27日(火)

交流拡大委員会

コロナ感染拡大防止対策が続く中での開催となり、席を離れての歓談はかきませんが、各テーブルでは美味しい料理をいただき、パーティーション越しに笑顔で会話を楽しむ姿がみられました。

ジャズユニット「クロス・トーク」さんが登場すると皆リズムにのって手拍子をし、素敵な演奏を堪能しました。

そして最後は新潟甚句。来年こそはまた新潟まつりの民謡流しに皆が揃って参加できるように願いを込めて踊りました。



視察見学会開催

令和4年10月21日(金)

研修事業委員会

柏崎市にある大規模バナナ栽培施設「シモダファーム」と原酒造(株)を訪問しました。シモダファームでは、霜田真紀子取締役副社長より「地域貢献」と「企業の成長」の「持続可能な循環」を目的にSDGsに取り組んでいること等をご説明いただきました。実際にバナナの栽培をしているビニールハウスを見学した一同は、葉っぱの大きさや新潟の地でバナナが栽培されていることに驚き、シモダファームの取組に関心を寄せていました。



ホームページリニューアル

広報委員会

来年の新潟全国大会に向けて女性会ホームページをリニューアルいたしました。今後、随時更新してまいります。

県内商工会議所女性会合同研修会

令和4年9月15日(木)

五泉商工会議所女性会が幹事を務め、ハイブリッド形式で研修会を開催しました。

新入会員紹介



眞増工芸
田中 あけみ さん



㈱JOV
谷藤 幹枝 さん



㈱測商新潟
萩田 明子 さん



㈱モイスティア新潟販売
原 千鶴子 さん



山下 久美 さん

第54回商工会議所女性会連合会 福島全国大会

令和4年10月7～8日

～ 来年10月5日から6日開催の第55回「新潟全国大会」をPR!! ～

令和4年10月7日～8日にかけて、郡山市で開催された全女連「福島全国大会」に新潟県内女性会から43名（内新潟女性会21名）が出席しました。

当日は、壇上で次回開催地である新潟のPRと全国商工会議所女性会連合会旗の引き渡しが行われました。



懇親会 日商の三村会頭と



懇親会スタート あま酒で乾杯！



佐野副会長は、「新潟県内女性会のメンバーの心をひとつにし、皆様方に精一杯の「まごころ」と「おもてなし」を提供させていただきます。ぜひ、新潟へお越しください。」と挨拶し、参加者全員で全国の女性会会員へ新潟のPRをしてまいりました。



もうすぐ本番！笑顔でがんばります

次回

令和5年度は新潟県で開催！



・大会テーマ

ようきなった新潟！
～まごころコメて おもてなし～

・ロゴマーク

新潟を象徴する「米・朱鷺・花火・錦鯉・雪椿・チューリップ」が盛り込まれたデザインとなっています。



会員募集中！

輝く女性のネットワーク

新潟商工会議所女性会に ぜひご入会下さい!!

新潟商工会議所女性会事務局
(会員サービス課)

TEL 025-290-4411
FAX 025-290-4421



編集後記

本年は、新型コロナウイルス感染拡大の真ただ中ではございましたが、新潟女性会創立20周年記念事業、全女連福島全国大会、納涼会、視察見学会と盛りだくさんの事業を開催いたしました。

広報委員会では、会員相互の理解を深めるため、また未加入の方にも周知していただければと思い、写真を多く掲載いたしました。皆様からご活用いただけますと幸いです。

これからも女性経営者の友情と信頼の輪が広がっていきますように。
(広報委員 山田陽子)



記念パーティーに参加された皆様

輝



記念パーティーに参加された皆様

輝



女性の力で

輝く未来を次世代へ

